

りんどう極早生種 キュースト の半促成栽培における栽培特性

【1 成果概要】

- (1) 県北地域においてりんどう極早生種 キュースト をパイプハウスによる無加温半促成栽培すると6月下旬に採花できます。
- (2) 半促成栽培における株の生産力は2年程度であり、既存品種の 早生3 並です。

【2 効果】

採花期は キュースト の露地栽培に比べ25日程度前進します。また、早生種 早生3 の半促成栽培に比べ12日程度前進します。

表1 年次別の採花期

品種	株齢(年)	ハウス半促成栽培			露地栽培 ¹		
		始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
キュースト	3年生(H19)	6/19	6/25	7/3	7/13	7/20	7/26
	4年生(H20)	6/21	6/27	7/5	7/19	7/22	7/26
	5年生(H21)	6/18	6/26	7/5	7/16	7/20	7/26
早生3	3年生(H19)	6/29	7/7	7/14	7/30	8/5	8/16
	4年生(H20)	7/1	7/11	7/17	7/31	8/7	8/16
	5年生(H21)	6/27	7/7	7/15	8/1	8/7	8/12

1; キューストは4~6年生、早生3はマジェルの2~4年生のデータ。
2; 始期 10%、盛期 50%、終期 90%

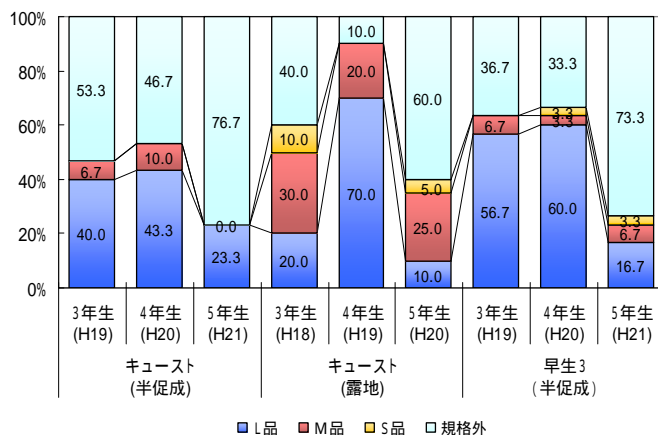


表2 出荷規格別割合の年次別推移

【3 留意事項】

- (1) 軽米町山内 (標高 240m) における採花期です。
- (2) 半促成栽培を導入する際の参考とします。
- (3) 以下の保温管理方法による成績です。

- (1) 保温開始時期 H19,20 ; 1/30 H21 ; 1/15
- (2) 屋根ビニール+内張り+小トンネルの3重被覆 (無加温) を基本に管理。
 - 2月: 3重被覆とし、晴天日には小トンネルを外し2重被覆。
 - 3月: 3重被覆とし、晴天日には小トンネルを外し、内張屋根面を開放。
 - 4月: 3重被覆とし晴天日には内張の裾・屋根面とも開放、曇雨天時は内張屋根面のみを開放。トンネルは4月下旬に外した。自動換気設定温度を25とした。
 - 5月: 2重被覆とし、日中は内張開放。自動換気設定温度を20とし、下旬から遮光した(遮光率30%)。
 - 6月以降: 1重被覆とし、自動換気設定温度を20とした。通年1重被覆とし、9月上旬まで遮光を継続した。



図1 保温管理状況 (4月2日)